

事務事業名	介護認定審査会運営事務		所属部局	保健福祉部	単位番号	T479					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	介護福祉課	課長名	浅利澄子					
			所属担当	介護保険担当	担当者名	中込裕也					
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 04	名称 介護	款 01	項 03	目 01	細目 002	細々目 01	
政策	29	社会福祉の充実	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	29	高齢者福祉の充実									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 12 年度)			法令根拠	介護保険法						
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	介護認定審査会の運営、年間約110回			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	認定審査会委員の報酬、5合議体(1合議体5名)25名の審査委員で構成			委員報酬	8,273						
	介護保険サービスを受けようとする方より、申請を受け認定調査、主治医意見書により1次判定をした資料を基に、認定審査会を開催し2次判定を行う(申請者の介護度、有効期間の判定)			通信運搬費	256						
						計	8,529				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績	認定審査会の開催	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	26年度活動予定	介護認定調査事務と統合する。			ア 審査会回数	回数
					イ 判定人数	件
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	介護保険サービスを受けようとする申請者		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 認定申請者数	件
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	認定調査並びに主治医意見書により出された一次判定結果を基に、認定審査会により、申請者に適した結果が出るようにする		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 判定人数	件
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	介護保険認定申請者が適切なサービスを受けられるようになる		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 新規申請時の取り下げ件数	件
					イ 非該当件数	件

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		8,532	8,529	38,677	38,677	38,677	
		一般財源	千円							
		事業費計(A)	千円	0	8,532	8,529	38,677	38,677	38,677	0
人件費		正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間		222	240	230	200	200	
		人件費計(B)	千円	0	1,010	1,092	1,047	910	910	0
		(A)+(B)	千円	0	9,542	9,621	39,724	39,587	39,587	0
	活動指標	ア 回数			111.0	120.0	115.0	115.0	115.0	
		イ 件			3,370.0	3,400.0	3,370.0	3,000.0	3,000.0	
	対象指標	ア 件			3,512.0	3,600.0	3,600.0	3,400.0	3,400.0	
	成果指標	ア 件			3,370.0	3,400.0	3,370.0	3,000.0	3,000.0	
	上位成果指標	ア 件								
		イ 件								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成12年度の介護保険制度発足時に事業を開始。介護保険サービスを利用するために審査会を開催した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	高齢化が進み、介護保険サービスを利用したい人が増加し、認定申請者が年々増加している。このため、審査会の回数と審査件数が増えている。今後も、このような状況が進み、団塊の世代が高齢者になり2025年には、
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	判定結果について、介護状態に変化が無いが介護度が上がったあるいは下がったことについての問い合わせターミナルの方からの申請は、出来る限り早く調査を実施して審査結果(介護度)を出して欲しい

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	認定審査会運営事務については、合議体の数を増やし対応した。また、国から示されている有効期間について、申請者の状態を勘案し、出来る限り長い有効期間を設定することで、更新申請者数が減少するようにした。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	審査会委員に出していたお茶をなくし、事務経費を削減した。 国から示されている有効期間について、認定審査の際には審査会委員により、従前以上に個々の事例ごとに長

事務事業名	介護認定審査会運営事務	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 法定事務である
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 法定事務である 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 法定事務である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 法定事務である
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 介護認定調査事務 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 介護保険申請、調査、主治医意見書の收受、審査会の運営(2次判定)までを一連の事務とすることができる <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 国の制度による義務的業務 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 国の制度による事務的業務
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 認定結果について有効期限の検討を積極的に行い、適正にを設定したことにより審査会開催を削減を行っているため現行法上では今以上の削減は困難である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 認定結果について有効期限の検討を積極的に行い、適正にを設定したことにより審査会開催を削減を行っているため現行法上では今以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 申請を受け、介護保険サービスを受けることができる状態になるように、一連の事務を遅滞無く実施している

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の見直しを行い改善されてきている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 認定審査の際には審査会委員により、従前以上に個々の事例ごとに長期間要介護(支援)状態が継続するかを判断し、国から示されている有効期間の範囲で認定することに重点を置く。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 認定調査から審査、決定の一連の手続の中で、よりの確な調査を行う。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					